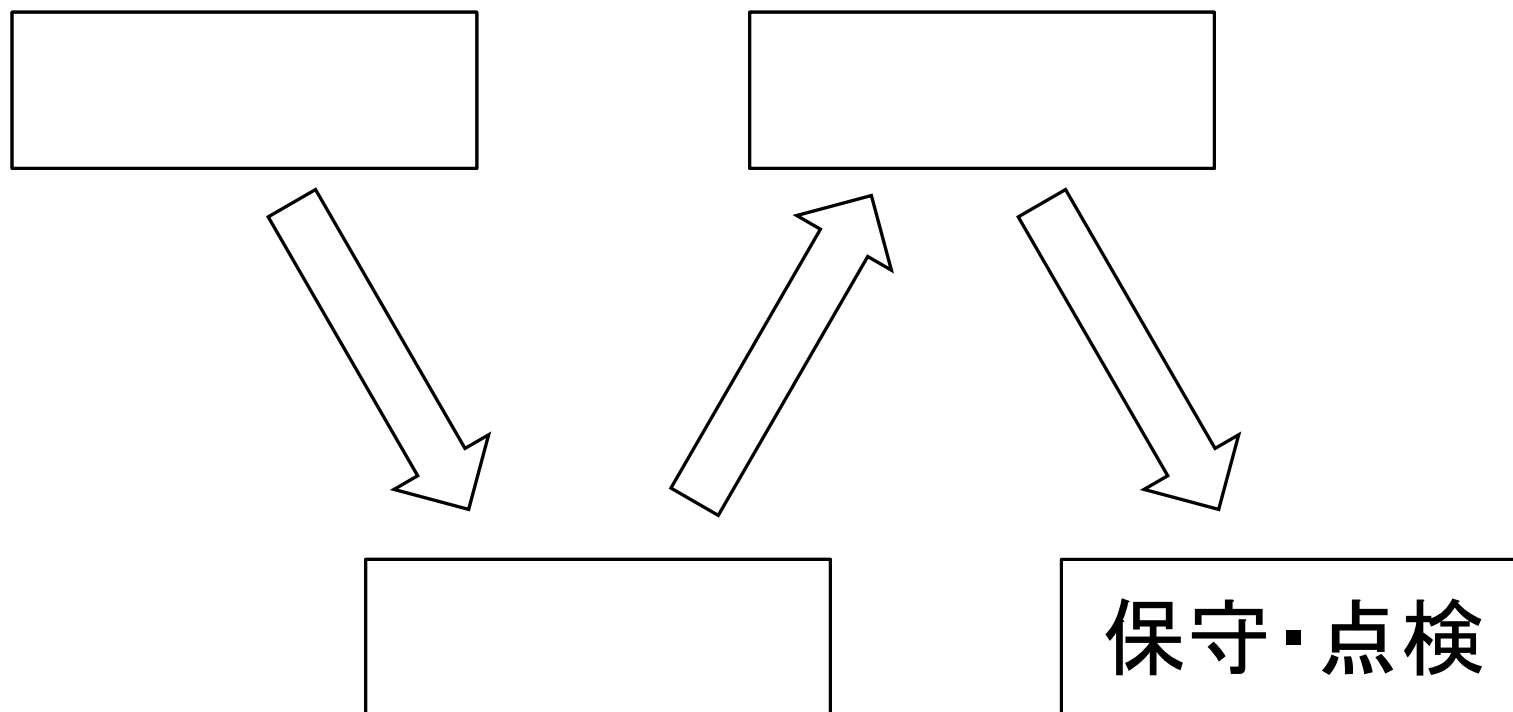


レスバグ・プログラミング 覚書

37-166278 村松克俊
('16年度プログラミングTA)

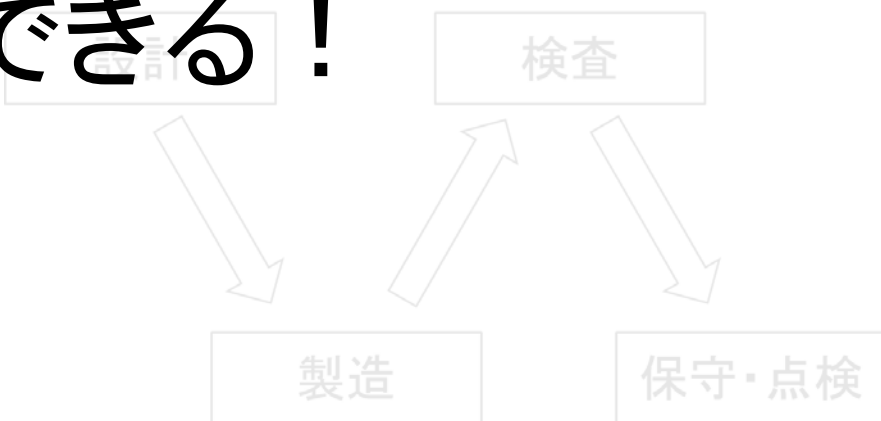
皆さんは、
もの作りのルール
ってどのくらいご存知ですか？

一般的なものの作り



一般的なものの作り

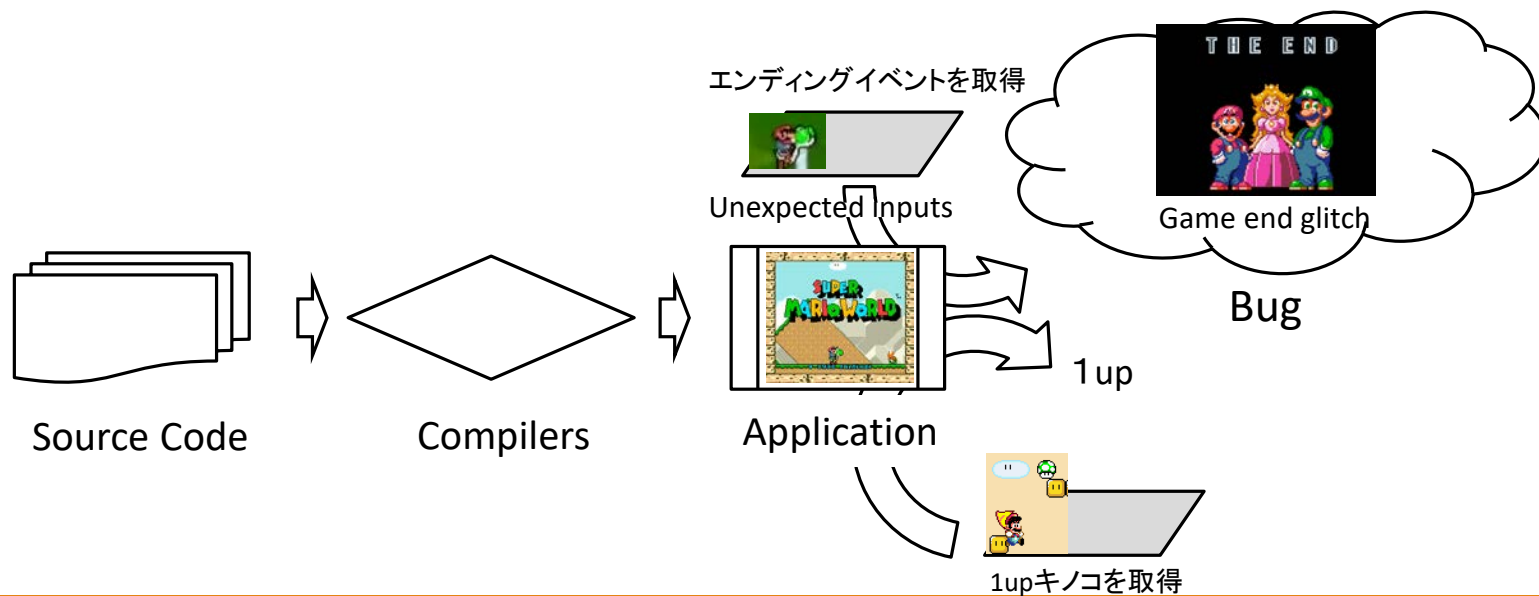
型に則れば、
バグの少ないプログラミングが
簡単にできる！



デバッグとは？

デバッグ(Debug)とは

- バグ (Bug) : 不適切なソースやコンパイルの失敗などで発生した**規定外**の動作
- デバッグ (Debug) : Bugを取り除く作業全般



デバッグ三箇条

1. 予想を信じるな, 結果のみを信じろ
2. デバッグは設計から始まる
3. 面倒な作業は決して厭わない

デバッグの手順

Step1

- バグの存在を認識する

Step2

- バグの発生条件を特定する

Step3

- バグの原因を特定する

Step4

- バグを駆逐する

Step5

- 修正を試験する

バグの存在を認識する

バグの発生要因

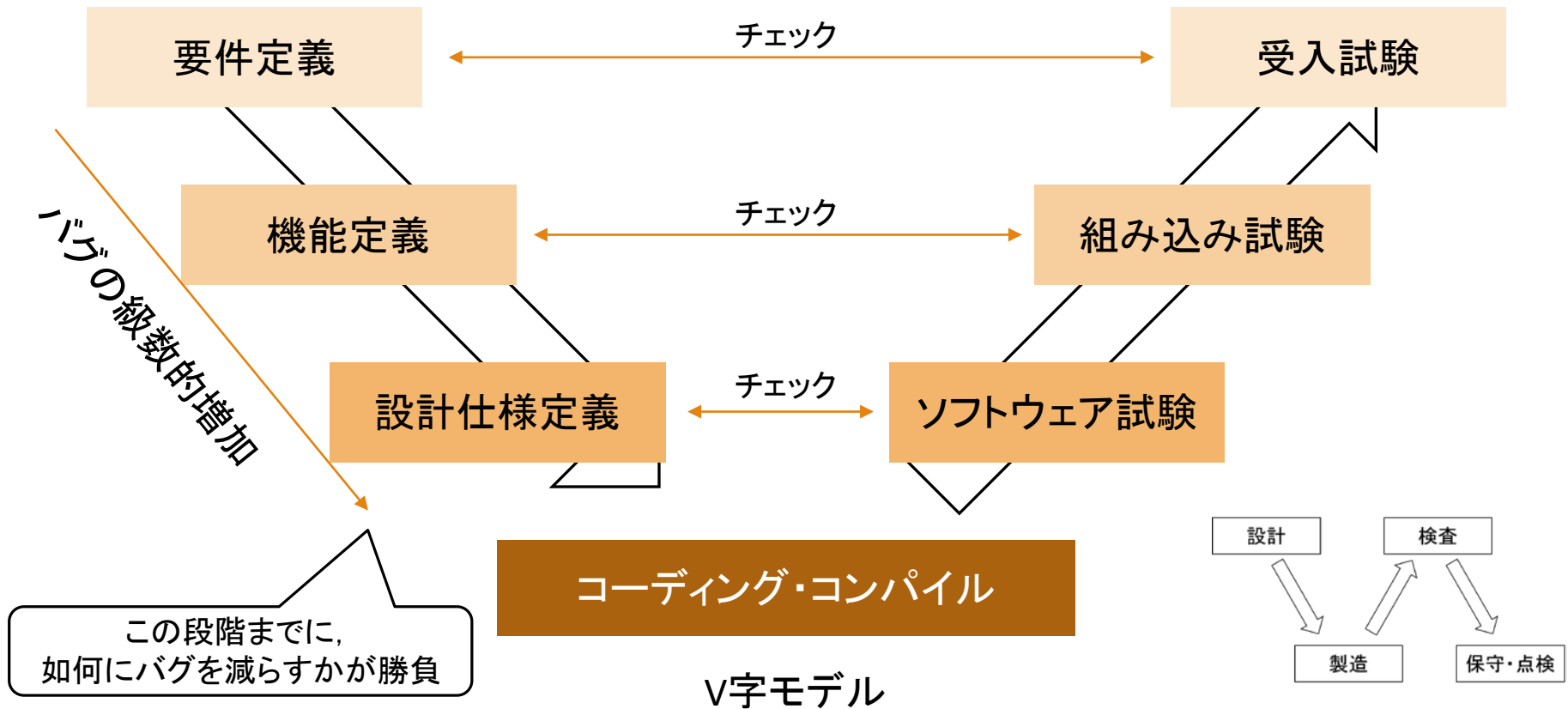
十中八九
プログラムに関する定義不足

レスバグ・プログラミング

3つのやるべきこと

- 要件定義・機能定義・設計仕様定義を紙に書く
- 粗くてもいいのでフローチャートを必ず書く
- 粗くてもいいので変数相関図を必ず書く

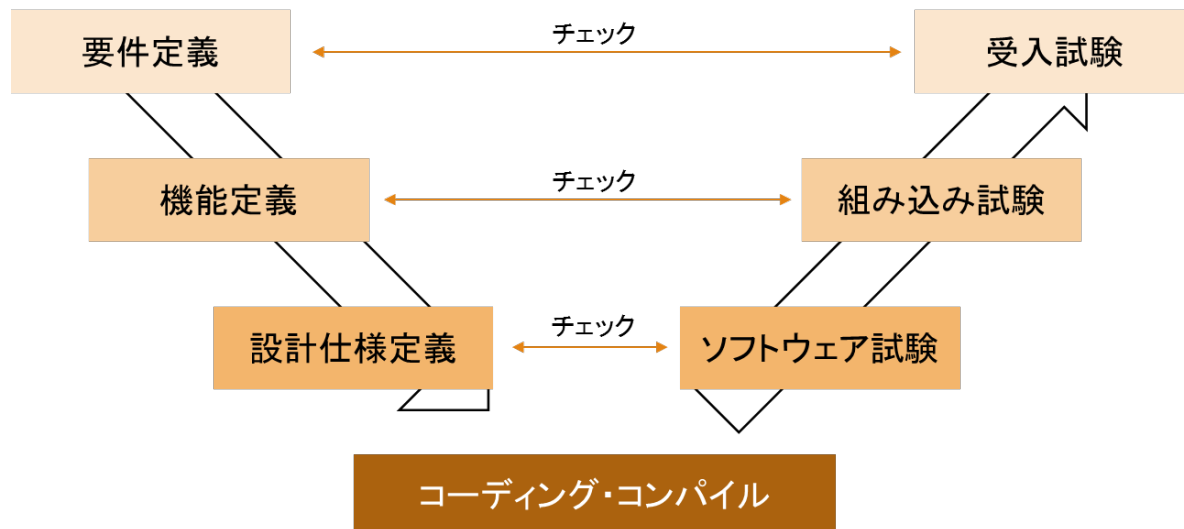
プログラミングの流れ



レスバグ・プログラミング

要件定義・機能定義・設計仕様定義を紙に書く

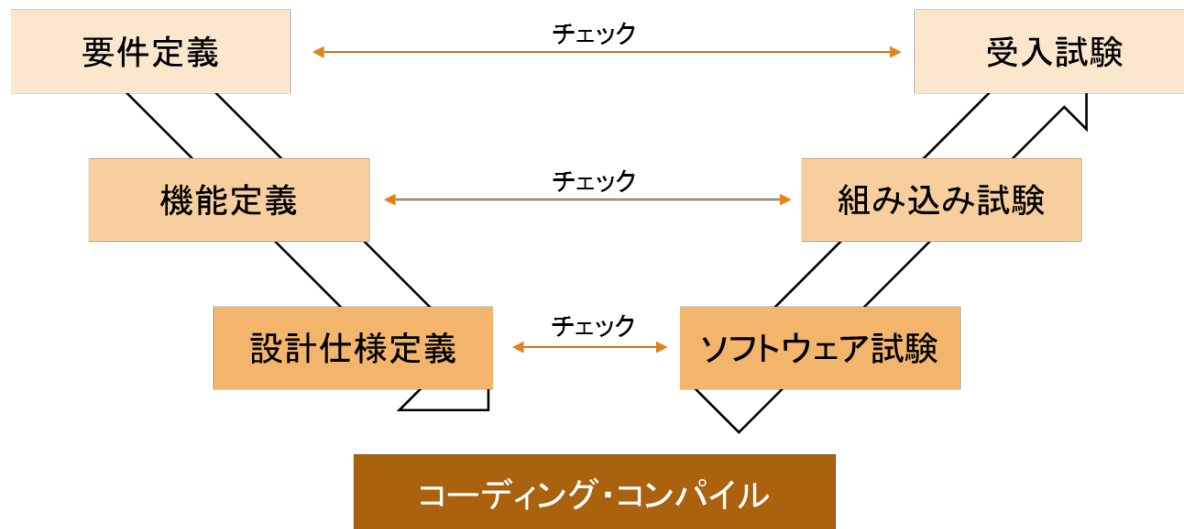
- 要件定義: 何をどうしたいか (概念設計)
- 例: 入力した2つの行列の積を計算したい



レスバグ・プログラミング

要件定義・機能定義・設計仕様定義を紙に書く

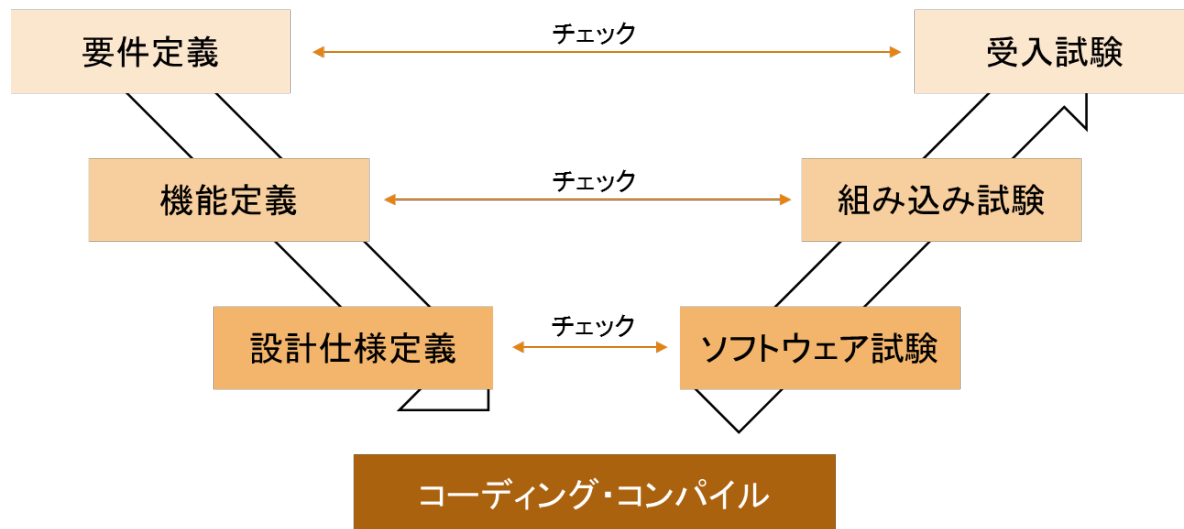
- 機能定義: どのような仕組みで要件定義を解決するか
- 例: 行列入力を受け取る機能 + 積を計算できるかを考える
機能 + 積を出力する機能 + エラー処理 + ...



レスバグ・プログラミング

要件定義・機能定義・設計仕様定義を紙に書く

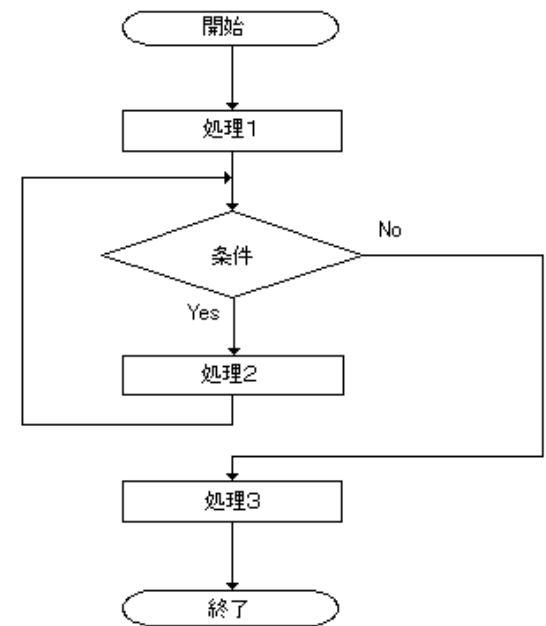
- 設計仕様定義: 具体的にどのような手法で要件定義を解決するか
- 例: 関数・変数は何を使うか クラスはどうするか など



レスバグ・プログラミング

粗くてもいいのでフローチャートを必ず書く

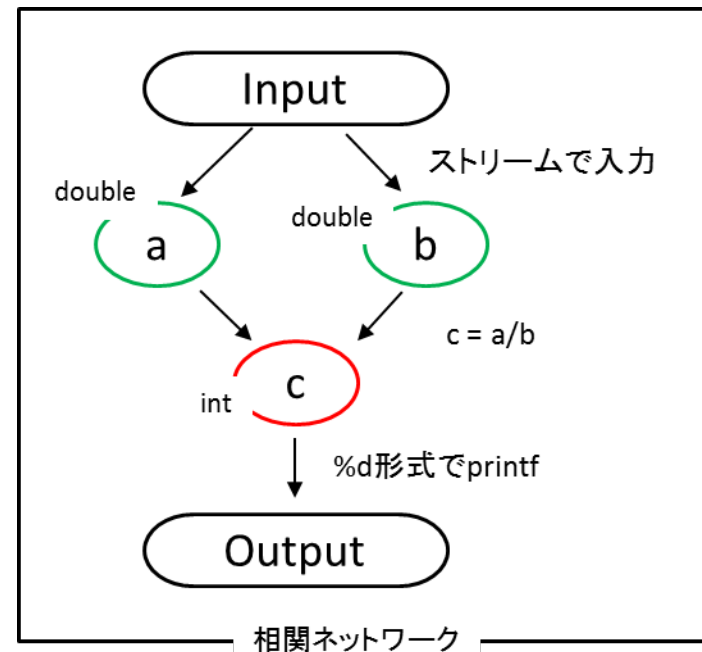
- ここまでで最低でも機能定義が網羅できる
- 機能定義時点までのバグを発見可
- 慣れるまでは頭のなかでやらない



レスバグ・プログラミング

粗くてもいいので変数相関図を必ず書く

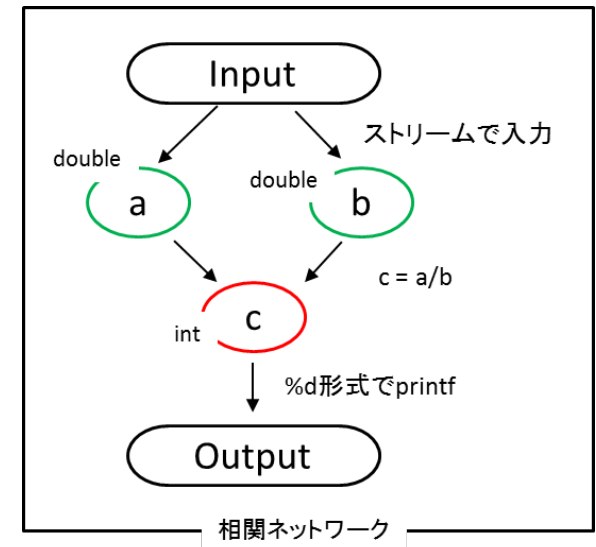
- ソフトウェア試験や、後のバグフィックスに役立つ
- 慣れるまでは頭のなかでやらない



変数相関図について

変数相関図(相関ネットワーク)とは？

- 入力・出力と全変数をノードとし, 各ノードを注釈付きの矢印で結んだ図
- 矢印につける注釈は, 各ノード間の関係を記載する

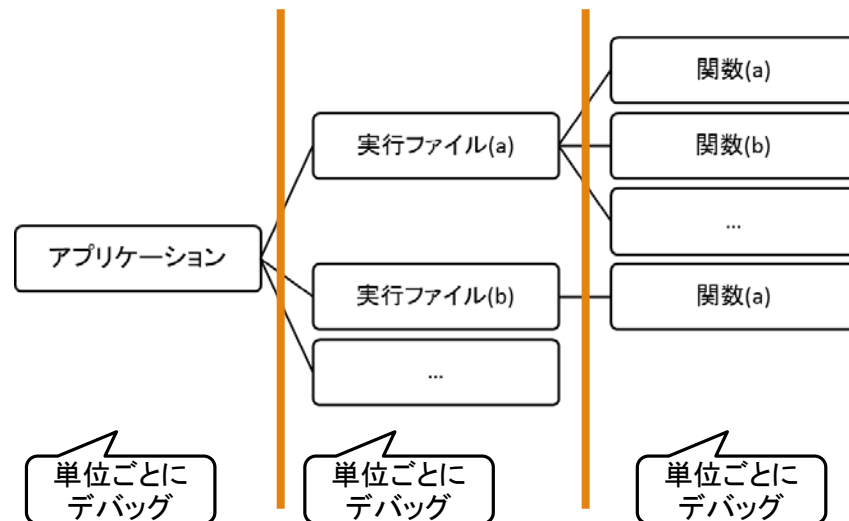


バグの発生箇所を特定

発生箇所の特定

プログラムの圧縮

- 全部をデバッグするのではなく、機能ごとにデバッグ
例) 関数ごとにデバッグ



発生箇所の特定

兎に角ログを吐き出す

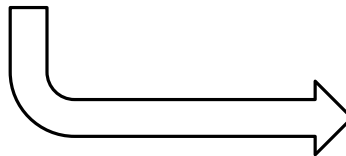
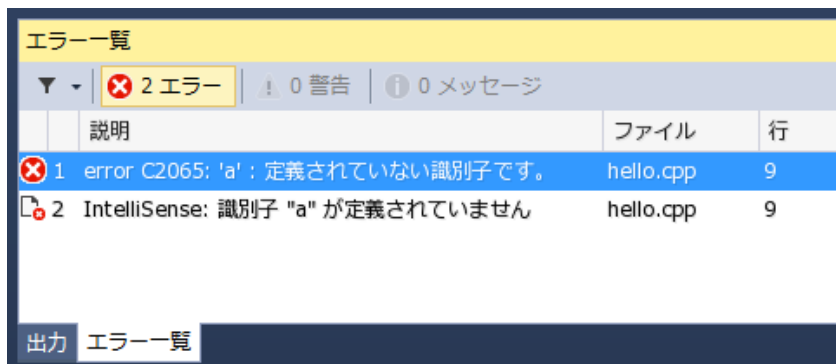
- 吐き出し方:
 - printf, cout, 規定のテキストログ, ダンプファイル
- どこまで規定の動作をしているのかを見る
 - 規定の動作 = 仕様定義された動作
 - ここで規定の動作をいい加減に定めると, さらなるエラーを引き起こす

バグの原因を特定

原因の特定

表示されるエラーメッセージをよく読む

- 何言ってるかわからない場合は、変数部分を空白にした文言でググる



原因の特定

C初心者のやりがちなミス

- 未定義領域にアクセスをする(アクセス禁止法違反)

例)a[100]の配列を生成→a[100]にアクセス
int aを定義して, 初期化せず cout するなど

- 誤った改行や文字(; など)の欠損

- 二重定義

二重定義とは: 同じ文字の変数を2回以上定義すること
(リキャストと違う)

原因の特定

C初心者のやりがちなミス

- カウンタなどのオーバーフロー
- 代入ミス
 - 特にファイル場所の指定に多い. 文字結合のミスとか
- 複数の main 関数の有るcファイルの混用
- 定義済みだと勘違いのマクロを使用
 - 特にM_PI

原因の特定

表示されるログをよく読む

- おかしいと思う部分以外を削除して(=最低限の環境で) コンパイル&実行
- それでもうまくいかない場合は、
頭を空っぽにして、ソース通りに手計算
 - 暗算はしない. 必ず紙に書く
 - 当然省略しない. 全部を紙に書き出す.

バグの駆逐

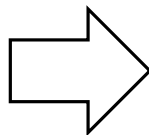
バグの駆逐で怖いこと

修正が生むさらなるバグ

例) 何がよくないか？

- 途中で出力が0になっており、原因を探したらdouble型を含む計算をint型で行っていた。そのため、int型定義でなく変数定義を全てdouble型で行った。

```
1 #include <iostream>
2 #include <stdio.h>
3
4 int main(void)
5 {
6     double a;
7     double b;
8     std::cin >> a >> b;
9     int c;
10    c = a / b;
11    printf("%d\n", c);
12    system("pause");
13 }
```



```
1 #include <iostream>
2 #include <stdio.h>
3
4 int main(void)
5 {
6     double a;
7     double b;
8     std::cin >> a >> b;
9     double c;
10    c = a / b;
11    printf("%d\n", c);
12    system("pause");
13 }
```

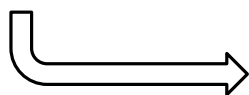
```
2.0 4.0
0
続行するには何かキーを押してください . . .
```

バグの駆逐で怖いこと

修正が生むさらなるバグ

例) 何がよくないか？

- 途中で出力が0になっており、原因を探したらdouble型を含む計算をint型で行っていた。そのため、int型定義でなく変数定義を全てdouble型で行った。



printfの表記が直っていないので×

```
1 #include <iostream>
2 #include <stdio.h>
3
4 int main(void)
5 {
6     double a;
7     double b;
8     std::cin >> a >> b;
9     double c;
10    c = a / b;
11    printf("%d\n", c);
12    system("pause");
13 }
```

訳: double型と宣言しているcを%dフォーマットで表示しているけど、%fフォーマットの表示に直すか、cの型定義見直したら？

double c

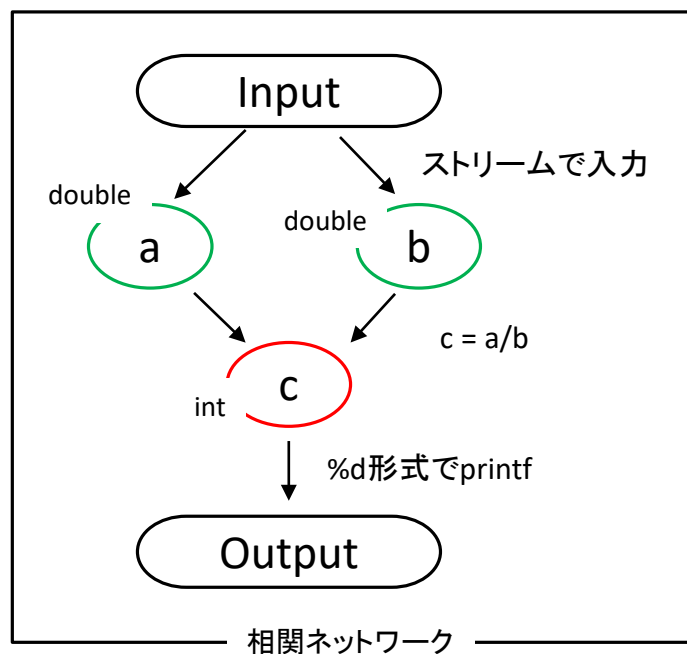
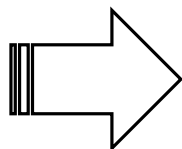
Cannot print value of type 'double' that implies specifier '%f' with format specifier '%d' that implies type 'int'

バグの駆逐で怖いこと

修正が生むさらなるバグ

- 修正する変数のステークホルダも必ず修正必要か確認

```
1 #include <iostream>
2 #include <stdio.h>
3
4 int main(void)
5 {
6     double a;
7     double b;
8     std::cin >> a >> b;
9     int c;
10    c = a / b;
11    printf("%d\n", c);
12    system("pause");
13 }
```

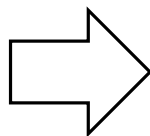


バグの駆逐で怖いこと

修正が生むさらなるバグ

- 修正後はバグの起こりにくい形に変える

```
1 #include <iostream>
2 #include <stdio.h>
3
4 int main(void)
5 {
6     double a;
7     double b;
8     std::cin >> a >> b;
9     int c;
10    c = a / b;
11    printf("%d\n", c);
12    system("pause");
13 }
```



```
Application2 (グローバルスコープ)
1 #include <iostream>
2 #include <stdio.h>
3
4 int main(void)
5 {
6     double a;
7     double b;
8     std::cin >> a >> b;
9     double c;
10    c = a / b;
11    std::cout << c << std::endl;
12    system("pause");
13 }
```

```
2.0 4.0
0.5
続行するには何かキーを押してください . . .
```

修正を試験する

修正を試験する

バグを分類する

- アウトプット・マトリクス

あるべき		Output	
		Ture	False
Input	True	○	-
	false	-	○

例		Output	
		Ture	False
Input	True	○	○
	false	-	○

おかしい出力

1. どのようなinputをしたらどのようなoutputがあるかを書き下す
2. あるべきアウトプットマトリクスとの差を見る

試験の注意

評価シートの作成

- 出来る限り多くの種類の観点で試験する
- アウトプットマトリクスを意識する

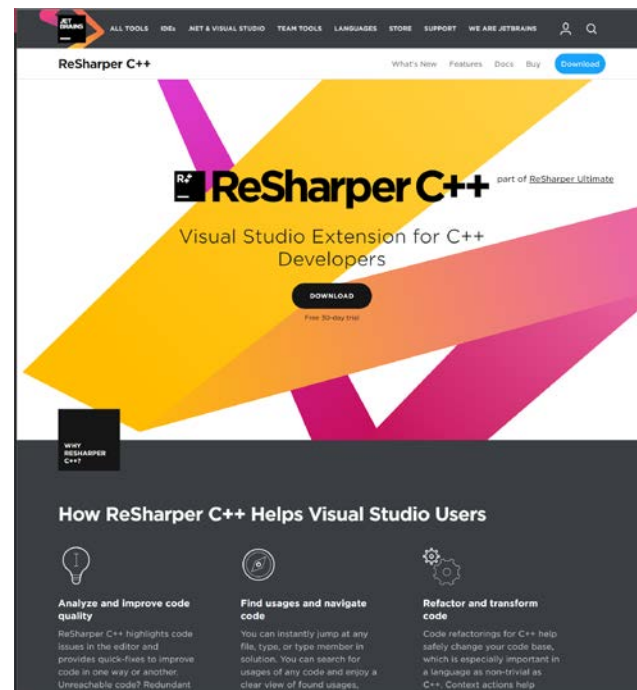
例) .txt ファイルの読み込み部分の試験

ID	内容	結果
000	.txtを入力	
001	.rawを入力	
002	.csvを入力	
003	入力に何も指定しない	
004	拡張子を変更した元.txtを入力	
005	拡張子を変更した元.rawを入力	
...	...	

Appendix

JETBRAINS ReSharper C++

- 言語は英語限定(日本語環境でも使用可能)
 - 怖い人は英語環境での使用を推奨
- 学生版無料
- 定義不足や未定義のところを赤字にしてバグを防止してくれる
- C#だと更にリッチな機能(変数の自動修正)がある



* JETBRAINSはPythonのエディターで有名
(Jetbrains PyCharm Community)